

議案審議

令和8年第1回臨時会が1月30日に、第2回定例会が2月12日から3月18日までの日程で開催されました。議案は、臨時会が専決処分の承認1件、補正予算2件、定例会では新年度予算9件を含め28件でした。また、請願1件、意見書4件もありました。

1月30日
臨時議会



2月26日
議案質疑



3月18日
討論採決



■ 当初予算	9件
■ 条例制定・改正	10件
■ 補正予算	6件
■ 人事	1件
■ その他	2件
■ 請願	1件
■ 意見書	4件

今号ではこの中から5つをpickupします。
結果の詳細は8頁をご覧ください。

こんな
議案を審議し
決めました

1月臨時会

PICK
UP
1

議案第2号

令和7年度甲賀市一般会計補正予算(第9号)

賛成多数で、可決しました。

質疑応答

Q 物価高騰対策地域応援クーポン券事業は、エネルギー価格、食料品価格等の物価高騰による影響を受ける全市民に対し、市内店舗で使用できるクーポン券を配布するものであるが、クーポン券を、市内本店の中小企業者の店舗および商工会員の事業所利用分と、市内店舗利用分に分けた理由は何か。

A 国の物価高騰対応重点支援地方交付金を財源にしており、物価高騰の影響を受けた生活者に対してクーポン券を配布し、消費を下支えし応援するという趣旨である。地元店舗で利用できるクーポンとして、市内本店の中小企業の店舗および商工会員の事業所利用分として1人3,000円分と、生活者が使いやすい大型量販店の市内店舗利用分として1人3,000円分の、2つに分けたものである。

3月定例会

PICK
UP
2

議案第14号

甲賀市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

全員賛成で、可決しました。

質疑応答

Q 第5条で特定乳児等通園支援事業者は、乳児等支援給付認定保護者から利用の申し込みを受けたときは、正当な理由がなければこれを拒んではならないとある。正当な理由とは何か。また、だれが判断するのか。

A 正当な理由とは、社会通念上客観的・合理的に正当と認められる事由であり、定員超過等利用を申し込んだ保護者に対し説明し理解が得られるべき理由である。また、正当な理由とはいいがたい運用については、国のガイドライン等を基に市が判断し、必要に応じて指導等行う。

PICK
UP 3

議案第5号

令和8年度甲賀市国民健康保険特別会計予算

議案第29号

甲賀市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

賛成多数で、可決しました。

反対討論

医療・介護・後期高齢者支援分の税率等は据え置きされたものの、令和8年度から子ども・子育て支援分が加わり引き上げに。そもそも医療保険と関係がない施策を保険料に上乗せすることに反対。

賛成討論

県単位の枠組みのもと持続可能な国保制度の確保のため努力されている。第一は基金の活用を適正に行い急激な保険料上昇を抑制している。第二は特定健診の拡充など保健事業の充実。第三は収納対策と負担の公平性が買われているので賛成。

PICK
UP 4

議案第6号

令和8年度甲賀市後期高齢者医療特別会計予算

賛成多数で、可決しました。

反対討論

制度導入から18年間をみると、均等割額は当初3万8,175円が令和8年度からは5万5,380円、所得割率も6.85%から10.13%に。くわえて後期高齢者医療にも子育て支援分が加算され、年金生活者の家計を直撃する引き上げなので反対。

賛成討論

高齢化率や医療費の増大、子ども子育て支援金の加算など、保険料の引き上げは避けられない状況にある。こうしたなか低所得者への配慮などが適切に組み込まれている。負担の適正化をはかりつつ、受益と負担のバランスを維持するものであるので賛成。

PICK
UP 5

請願第1号

物価上昇に見合う年金引き上げを求める請願

賛成少数で、不採択に。

全日本年金者組合滋賀県本部甲賀支部の支部長・藤橋雅嗣さんから「物価上昇に見合う年金引き上げを求める」請願が提出され、厚生文教常任委員会で審査しました。請願事項は、「若者も高齢者も安心して老後を暮らせるように、物価上昇に見合う老齢基礎年金等の支給額を改善すること」。請願を採択して国に意見書をあげてほしいという請願です。

反対討論

持続可能な仕組み作りを確実に行うことが求められている。公的年金制度も同様である。それが賃金や物価の改定を緩やかに調整するマクロ経済スライド。将来の給付水準を確保し、制度の持続可能性を高めていくことが期待され合理性がある。将来世代の一人として本請願を採択することは躊躇せざるを得ない。

賛成討論

第二次安倍政権以降14年間で、物価は17.2%上昇しているのに基礎年金額は7.3%の改定にとどまっている。つまり9.9%の減額。4月から基礎年金が1.9%、厚生年金が2.0%引き上げられたが、物価上昇率3.2%に追いついていない。マクロ経済スライドの仕組みが年金引き上げを抑えている。せめて物価上昇に見合う年金引き上げをという請願は当然の願いであり、賛成。

